

吉本興業は、国際社会の一員として、持続可能な開発目標SDGs(エスディーゼス)に賛同し、「笑顔」につなげる活動を通じてより良い国際社会の実現に貢献・応援いたします。



「芸人による、わかりやすくキャッチーな言葉」「劇場やイベントを通じた、表現の場」「国内外のメディアとのネットワーク」など、よしもの持つ多様なリソースを駆使し、よしものにしかできない方法で、SDGsのPRにつとめていきます。

第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞（SDGsパートナー賞）を受賞

2017年12月26日、第1回目の開催となる本アワードは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、優れた取り組みを行う企業・団体等を表彰する制度。今回表彰されたのは、全部で12の企業及び団体で、吉本興業は特別賞（SDGsパートナー賞）を受賞しました。



2017/2018/2019年4月 島ぜんぶでおーきな祭

2019年は、吉本×国連第3弾SDGsコラボ動画「氷を運ぶ男」、「空飛ぶレジ袋」の上映や、「わったー！41フェス おきなわ県のみらいへつなぐ、じもとのちから」、「JIMOT CM REPUBLIC」、異言語脱出ゲーム「蒼海に眠る秘宝の謎～月夜の邂逅～」、「そうだ!どんどん がんばろう!スタンプラリー」を実施しました。「わったー！41フェス」では、沖縄41市町村を対象に、「JIMOT CM REPUBLIC」では、「みらいへつなぐ、じもとのちから」をテーマに作成した約30秒のCMを募集し、それぞれグランプリを決定。また、那覇国際通りレッドカーペットにて、国連本部のマーヘル・ナセル氏、国連広報センター所長の根本氏、外務省地球規模課題総括課長と西川きよし師匠率いるアジア住みます芸人らが、SDGsのプラカードを持って歩行し、大々的にRPLしました。



2017/2018/2019年10月 京都国際映画祭

2019年西本願寺でのレッドカーペットは、SDGs花月メンバーで出演し、翌日18日よしもと祇園花月にて「SDGs花月～漫才・落語に新喜劇～」を開催。SDGs-1グランプリは、桂文枝師匠と西川きよし師匠が審査員を務め、EXITが優勝。SDGs新喜劇は、川畑、すっちー、酒井藍と3座長が揃う豪華メンバーで行いました。岡崎公園での「京都市SDGsステージ」や「そうだ!どんどん がんばろう!スタンプラリー」のほか、イオンモールでは「SDGsってなあに!」ステージが期間中に2回開催され、映画祭各会場からSDGsを広く発信しました。



コラボコンテンツ

JIMOTO CM REPUBLIC



「あなたの身近なところにある、みらいに残したいもの」を映像で投稿。

写真展



SDGsについての考えを写真で表現し、取り組んでいくことの大切さを伝える写真展です。

SDGs講演会



黒ラブ教授によるSDGs×お笑い講演会の実施。

ワークショップ



芸人がMCを行い、企業社員様向けのグループワークショップを実施。

漫才



SDGsのゴールを取り入れた漫才を披露。

大喜利



落語家を中心とした芸人が、S・D・G・sのアルファベットで始まる「SDGsアイウエオ作文」や大喜利などを行います。

コメディ



次長課長・河本準一率いるメンバーによるオリジナルコメディを披露。

SDGs-1グランプリ



SDGs17のゴールを即興で自身のネタに入れ込み、その中で誰が一番上手くメッセージを伝える事が出来たかを披露して競うイベントです。

新喜劇



吉本新喜劇メンバーによるSDGsの17の目標をテーマにしたスペシャルな新喜劇を上演。

SDGsクイズ



SDGsのゴール17をテーマにそれぞれクイズを作成し、芸人から出題。

「そうだ!どんどん がんばろう!」スタンプラリー



タレントのスタンプを集めながらゲーム感覚でSDGsに触れる機会を楽しんで頂けます。

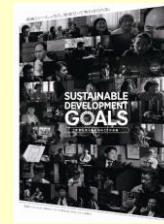
まるむし商店 磯部クレイアニメ



1作目「貧困をなくそう」編、2作目「飢餓をゼロに」編がYouTubeで公開中。全17話制作予定。

動画コンテンツ

吉本興業×国連 SDGsコラボ動画 「SDGsについて考えはじめた人々」



2017年10月SDGsの活動内容の認知促進を目的に、人気芸人がショートコント風のレトロな喫茶店を舞台にコンビの枠を越えてSDGsを語る全27本です。

吉本興業×国連 SDGsコラボ動画 「空飛ぶレジ袋」



地球を将来世代につないでいく上で緊急性の高い「海洋プラスチックごみ」の課題を取り上げ、市民一人ひとりのアクションを促すことを狙った動画です。